

している埋め立処分施設を10%程度かさ上げし、平成29年までの使用期限をさらに2、3年延長したい。平成25年度で中長期的な計画を策定すると聞いている。

**鷺見委員** 町立病院のPCB廃棄物処理事業8百11万円の内容は。

**岩川診療所事務長** 旧町立病院で使用していた蛍光灯安定器に含まれるPCB廃棄物で、国が定める特別措置法に基づき処理することが義務付けられており、専門業者へ委託し、室蘭市の処理施設へ搬入される。

**◆農林水産業費◆**

**植村委員** 鳥獣駆除対策事業での駆除計画は。

**羽田経済課主査** カラス2百羽、キツネ50頭、鹿4百頭の予定。

**高橋委員** 有害駆除の対象外のアライグマ捕獲委託料を支出すべきではないか。

**高田経済課長** アライグマは、狩猟法に基づく有害動物ではなく外来生物法での対象となり、町が捕獲かごを用意し農家の方々に無償で協力をお願いしている。

**◆商工費◆**

**西澤委員** 幌延町商工会地域振興事業のプレミアム商品券発行補助事業の増額継続とした理由は。

**島田経済課主査** 町民の方々に大変好評だったとの商工会からの集計結果を頂いており、平成25年度は実施規模を増額発行とした。

**佐々木委員** 幌延町・豊富町で行っている広域観光促進協議会の平成25年度の事業内容は。

**島田経済課主査** 3年間の継続事業で、昨年度作製したパンフレットをさらにグレードアップして増刷し、合同でPR活動を計画している。

**◆土木費◆**

**西澤委員** 名林公園の街灯増設計画があるが、LED照明を使用するのか。

**渡部経済課主幹** 増設する街灯はLED照明を使用。

**◆消防費◆**

**植村委員** 平成25年度の防災事業の考え方は。

**宮古総務課主幹** 自主防災組織と協力して、出前講座や冬場の防災訓練などを

予定。防災関係備品の確保は、業者の協力を得るための協定を結ぶなどソフト面の充実を図っていく。

**◆歳入一般◆**

**西澤委員** 法人税収入を前年度より減収とした根拠は。

**早坂会計課主査** 平成24年度の法人税実績を基に算出されることと、法人税率の改正の影響で平成25年度は厳しい予算設定になった。

**佐々木委員** 不動産売却収入で、以前宅地分譲した土地は完売されたのか。

**藤田会計課主幹** 町有地の宅地分譲は、ホームペーJ等々で募集するも一区画が売れ残っている。

**植村委員** 禁煙等々が進んでいる中で、たばこ税が増額された理由は。

**早坂会計課主査** 昨年度の税制改正に伴い、道たばこ税の一部を町たばこ税に税源移譲されたため。

**◆総括◆**

**佐々木委員** 新規就農支援条例が制定されたが、その財源確保のための基金を創設すべきでは。

**高田経済課長** この条例に関する財源は5年間で最大2億4千万円程度と想定。現在は一般財源からの支出で年間5千万円程度と考えている。

**西澤委員** エネルギー関連見学会に合わせて、防災意識の観点から直接被災地を見ることができないのか。

**飯田総務課主幹** エネルギー関連見学会は電源三法交付金で実施される事業なので、被災地の視察は目的外となり、町費との案分も難しい。

**鷺見委員** ふるさと創生資金をはじめとする町の基金が近年増額している。これらの基金の利用計画はあるのか。

**宮本町長** 今後、酪農支援など多額な補助も考えられるが、基金は本当に困ったときに使っていく。

**無量谷委員** ふるさと創生基金は条例上、現行の農業支援はできないのか。

**瀬戸会計課長** この基金は飽くまで民間団体や個人が、まちづくりのために事業等々を起こした場合に補

助の対象となり、既存の事業支援は該当しないと認識している。

**野々村委員** 町の防災組織には、その事例によって様々な災害対策本部が作られているが、これらの一本化を図れないものか。

**宮古総務課主幹** 確かに縦割になっている。過去に危機管理マニュアル的なものがあつたが、現在の体制に合っているか、精査する。

**野々村委員** 町立診療所を中核とした予防検診、予防診療、予防接種という町民福祉体制がとれないか。

**鈴木町民課長** 予防接種などの関係は町立診療所指定としているが、健康診断等は診療所とは別の機関へ



防災訓練